



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL http://www.boi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4400-1817
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の業績 (2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	2,347	△13.0	369	36.6	363	38.4	248	37.4
2018年9月期第2四半期	2,697	—	270	—	262	—	181	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年9月期第2四半期	63.72		63.17					
2018年9月期第2四半期	52.13		—					

- (注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を2018年9月期より行っているため、2018年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載して
 おりません。
 2. 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行
 われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2018年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場
 であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	3,482	1,375	39.5
2018年9月期	2,811	1,112	39.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 1,375百万円 2018年9月期 1,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載して
 おりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説
 明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年9月期2Q	3,909,000株	2018年9月期	3,896,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2019年9月期2Q	35株	2018年9月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年9月期2Q	3,906,751株	2018年9月期2Q	3,476,989株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載していません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、各種政策の効果もあり、雇用・所得の改善をはじめ、緩やかな回復基調が続くことが期待されました。しかしながら、通商問題の動向や中国経済の先行きなど、海外経済における不確実性等に留意する必要がある状況でもあります。

スマートフォンゲーム業界を取り巻く環境におきましては、国内市場の成熟化とヒットへの難易度が高まっている中、海外勢を含む多数の新規タイトルが日々参入し、激しい企業間競争が続いている状況にあります。

このような事業環境のもと、当社は「幻獣契約クリプトラクト」の4周年記念キャンペーンや「ミトラスフィア」の季節イベント等を実施いたしました。継続的に取り組んでいるプロモーションの効率化が影響したために売上高は前年同四半期比で減少いたしました。その一方、広告宣伝費が抑制されたことによって販売費及び一般管理費の減少並びに利益の拡大に繋がりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,347,733千円（前年同四半期比13.0%減）、営業利益は369,279千円（前年同四半期比36.6%増）、経常利益は363,473千円（前年同四半期比38.4%増）、四半期純利益は248,944千円（前年同四半期比37.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は3,482,194千円となり、前事業年度末に比べ670,778千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が572,384千円増加、売掛金が99,825千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は2,106,899千円となり、前事業年度末に比べ408,406千円増加いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が336,036千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,375,295千円となり、前事業年度末に比べ262,372千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使による新株発行を行ったことにより資本金及び資本準備金がそれぞれ6,747千円ずつ増加したことと、四半期純利益248,944千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、既存タイトルの長期運営並びに自社IPとしての育成を行いつつ、高品質の新作タイトルを開発・リリースすることが、当社にとっての最重要課題であると認識しております。

また、企業理念のロマンとして掲げている「世界で一番「思い出」をつくるエンターテインメント企業」のもと、ユーザーの皆様へ最高品質のものを提供することを第一としていることから、当社ではリリース時期を重視しないとともに、リリース時期についてのお約束をすることができないことを何卒ご理解賜りたく存じます。

2019年9月期第3四半期以降は以下の取り組みを行うことを予定しております。

① 新作タイトルの開発

本書提出日現在、RPGの新作2タイトルの開発を進めておりますが、2019年9月期中のリリースはありません。

いずれも当社にとって新たな主力タイトルとなるよう、当社の品質基準に妥協することなく、より高い品質を目指してまいります。競争優位性を高めるという観点から、リリースの目途が立つまで（β版が完成するまで）は新作の情報開示は控えるとともに、具体的なリリース時期等についてはIR並びにニュースリリース等でお知らせする方針であります。

② 既存タイトルのIP展開

当社は、自社開発タイトルにおけるIP展開の拡大を通して利益の多角化を図っており、本書提出日現在においては、同業他社に対する当社既存タイトルの著作権利用許諾によってロイヤルティを受け取っております。また、「ミトラスフィア」及び「幻獣契約クリプトラクト」の中国本土進出の準備が着実に進められている一方、新たに「幻獣契約クリプトラクト」の英語圏への展開も進めております。

引き続き、当社のゲームをより多くの方に楽しんでいただけるよう、様々な取り組みを通してIP展開の幅を広げてまいります。

③ スマートフォンゲーム事業以外の新規事業

今後、スマートフォンゲーム事業以外の新規事業への進出を想定し、「ゲーム×サービス」及び「その他ITサービス」のプロトタイプ開発に取り組んでおります。事業化に関しては、本書提出日時点においては未定であります。スマートフォンゲーム同様に質の高いサービス開発を目指しております。

なお、業績予想については、前事業年度における業績予想値の連続的な乖離並びに上記の取り組みに向けて機動的な投資判断を実施する観点から、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。しかしながら、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指し、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993,192	2,565,576
売掛金	600,440	700,265
その他	57,785	63,824
流動資産合計	2,651,418	3,329,666
固定資産		
有形固定資産	6,927	6,657
無形固定資産	3,809	2,932
投資その他の資産	149,260	142,937
固定資産合計	159,997	152,528
資産合計	2,811,415	3,482,194
負債の部		
流動負債		
短期借入金	150,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	508,750	567,434
未払金	364,896	371,364
未払法人税等	80,043	113,276
その他	168,925	251,594
流動負債合計	1,272,615	1,403,669
固定負債		
長期借入金	425,878	703,230
固定負債合計	425,878	703,230
負債合計	1,698,493	2,106,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,620	478,367
資本剰余金	449,060	455,807
利益剰余金	192,241	441,185
自己株式	—	△65
株主資本合計	1,112,922	1,375,295
純資産合計	1,112,922	1,375,295
負債純資産合計	2,811,415	3,482,194

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	2,697,442	2,347,733
売上原価	1,488,645	1,448,770
売上総利益	1,208,797	898,963
販売費及び一般管理費	938,553	529,683
営業利益	270,244	369,279
営業外収益		
受取利息	16	20
物品売却益	155	34
営業外収益合計	172	54
営業外費用		
支払利息	6,238	4,463
支払手数料	1,512	1,397
その他	0	0
営業外費用合計	7,751	5,860
経常利益	262,666	363,473
税引前四半期純利益	262,666	363,473
法人税等	81,426	114,529
四半期純利益	181,239	248,944

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、2019年4月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

中長期的な当社株式1株当たり株主価値向上のため

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|---------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 60,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.5%) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 100,000千円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2019年5月7日から2019年8月6日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |